『子育てサポート Smile』

【ごあいさつ】
　３学期の授業日も残すところ、２１日間となりました。それは令和２年度の学年末をも意味します。今年度はどうなることやら……、という思いでスタートした４・５月。例年よりも短かった夏季・冬季休業。お盆も正月も落ち着かない時間を過ごしました。それでも発せられた２回目の緊急事態宣言、そして期間延長。何もかもが制限された活動になり、「新しい生活様式」をベースに感染防止や感染拡大防止に取り組んできました。保護者の皆様には、今年度の学校教育活動に対して理解をいただき、ご協力をいただいてきましたことにあらためて感謝したいと思います。
　今後とも、ことさら、感染防止対策についてはご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

『特　集』

【日常的なマスク着用の必要性について】

○　先日、保護者の方から「マスク着用」に関するご意見をいただきました。“マスク着用にはデメリットもあることを学校はどのように考えているのか”という内容でした。

学校では、「新しい生活様式」の取組みの最たるものとして、「マスク着用」を奨励・指導しています。これは、そもそもの感染症防止対策として、インフルエンザが流行しがちな秋から春にかけて取り組んできたことでもあります。また、この新型コロナウイルス感染症が流行してきた当初から、国や県、須賀川市として着用を奨励し、強く呼びかけてきたことでもあります。マスク着用の必要性及びデメリットについて、その一部ではありますが、学校並びに保護者の皆様との認識を共有したいと思い、下記に示しました。

＜マスク着用のデメリット＞

＊　マスク着用には、いくつかのデメリットが考えられます。

①　息苦しいこと
・「息苦しい」と感じるということは、呼吸がしづらいだけではなく、１回の呼吸によって体内に取り入れられる酸素の量が若干少なくなることも考えられること

②　気温や湿度が高い場合は、熱中症になることもあること
・基本、人との距離が十分に保たれる場合は、屋外でのマスク着用は推奨されていません。日本小児科学会では、窒息や熱中症のリスクが高くなるとして、特に２歳未満の子どものマスク着用は不要であり、むしろ危険であるという声明を発表しています。また、呼吸器疾患等の基礎疾患を持っている方の着用は、状況に応じる必要があります。

③　マスクを着用していることで、マスクの外側が汚染され、そこを手指で触れることでの感染リスクがあること。この場合を考え、感染地域でのマスク着用の場合は、こまめに交換することと手指の消毒を十分に行うことが必要であること

④　マスクを着用することで、肌が弱い人は、不織布のマスクがこすれる刺激のせいで、肌荒れを起こすことがあること

〔マスク着用の必要性・メリット〕

※　学校では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、当初より文部科学省やスポーツ庁、福島県教育委員会、須賀川市教育委員会等からの通知、対応マニュアル等に基づき、「新型コロナウイルス感染症の予防　～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～」（令和２年４月　文部科学省）の保健教育指導資料を参考に日常の保健指導を行っています。

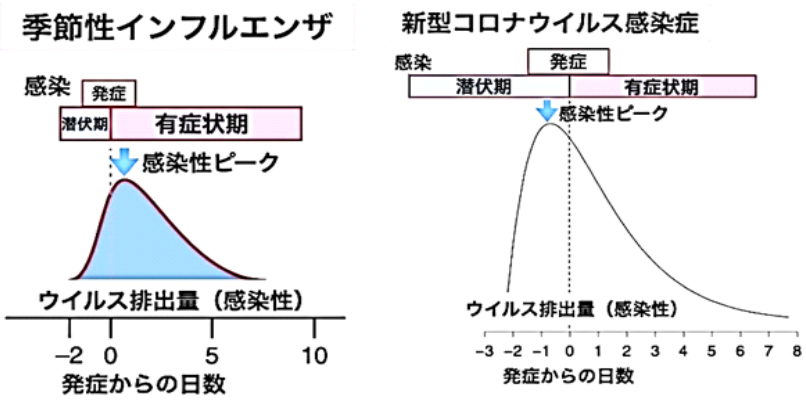
　従いまして、基本ベースはそれらの対応マニュアルに沿いながら、学校の実態に応じた対応策を講じ実践しています。学校の規模（児童数や学級数、教職員数等）や施設の実態、地域の実態によって対応が異なりますので、すべての学校が同じ対応をしているわけではありません。分かりやすく言えば、基本ベースは同じでも、本校と西袋二小の対応策は全く同じではありませんし、学校の教育活動も学校環境の違いから、出来る出来ないの違いが出てきます。

＜裏面に続く＞

＊　マスク着用のメリットや必要性は下記のとおりです。

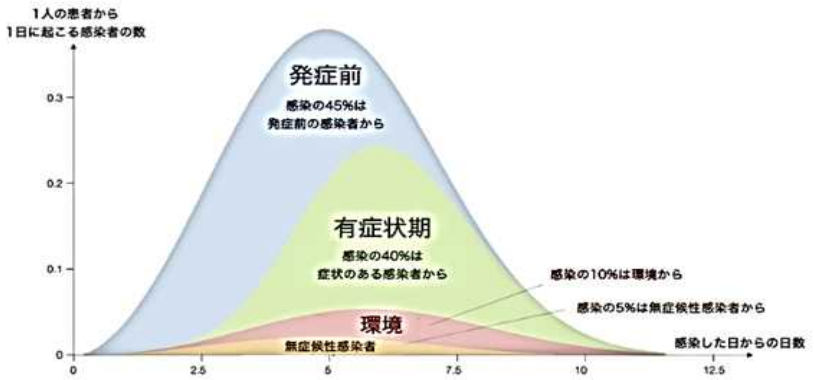
①　新型コロナウイルス感染症は、症状が出る前に感染リスクのピークがあることから、無症状であってもマスク着用することが重要であること（感染データから実証されています）

下記の資料は、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の発症後の感染性の違いです。



インフルエンザと新型コロナの発症前後の感染性の違い（https://doi.org/10.1038/s41591-020-0869-5より作成）

このように、新型コロナウイルス感染症の感染状況では、**発症前に感染性のピークがあり、全体の４５％を占めており、発症前の無症状の時期から周囲に感染させている**というデータがあります。さらには、無症状のまま経過する無症候性感染者からの感染が５％ということで、**全体の５０％は無症状者からの感染**であることが分かっています。



感染した日からの感染性の推移（Science 10.1126/science.abb6936 (2020).およびTomas Pueyo氏 "The Basic Dance Steps~"より）

②　会話や呼気でも飛沫が発生することから、マスクを着用することで、“感染させてしまう”こと及び“感染してしまう”ことの予防対策として有効であること
（通常の風邪やインフルエンザ感染防止対策としても同様）

③　「無症状の人を含めてマスクを着用する」ことをユニバーサル・マスクといいますが、「マスクは会話などで発生する飛沫の拡散を減少させる」というデータ事実から、現在ではＷＨＯでもマスク着用を推奨していること

新型コロナ　マスク着用による感染予防の最新エビデンス（忽那賢志）Yahoo!ニュースより

これらのことからも分かるように、学校という集団生活の中では、“感染しない”という予防も必要ですが、“感染させない”という予防も重要であり、デメリットもあることは承知していますが、マスク着用や手指消毒という予防策のメリットを優先させる対応が必須になるのです。

今後とも、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

◎ 学校に対する「質問」、「意見」や「要望」がありましたら、学級担任や担当教職員、教頭または校長へ直接、お気軽にご連絡ください。
須賀川市立西袋第一小学校　【連絡先】Tel 0248 - 76 - 5131　Fax 0248 - 63 - 8517
文責　須賀川市立西袋第一小学校長　星田弘美